



平成 20 年 8 月 13 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号2369:東証マザーズ)  
問合せ先 管理本部長 門井 豊  
(Tel: 03 - 6744 - 2882)

## 営業外費用（連結） 特別損失(単体)の計上及び 業績予想の修正に関するお知らせ

このたび、当社グループにおいて、持分法適用関連会社である株式会社 Asia Private Equity Capital に関して営業外費用（連結）、特別損失（単体）が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 2 月 8 日の通期決算発表時に公表した平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想についてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外費用及び特別損失の発生について

平成20年12月期中間の連結業績において、持分法適用関連会社である株式会社Asia Private Equity Capitalに関して、監査法人との協議の結果、「持分法会計に関する実務指針」（会計制度委員会報告9号）20項に基づき、同社の債務超過額全額を負担することにより発生した持分法投資損失425百万円を計上するものであります。

また、単体業績においては、当社が保有する同社向け貸付債権に対し、契約に基づき回収は進捗しておりますが、債権残高と同社の財政状態を鑑み、貸倒引当金繰入額466百万円を計上するものであります。

#### 2. 業績予想数値の修正

##### (1) 平成 20 年 12 月期中間の業績予想の修正

連結業績予想(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想( A )	127	269	259	260
今 回 修 正 予 想( B )	172	205	616	642
増 減 額 ( B - A )	+45	+64	357	382
増 減 率 ( % )	+36.0	-	-	-
(ご参考) 前期実績平成 19 年 12 月中間期	613	498	523	523

(単位：百万円、%)

(2) 平成 20 年 12 月期通期の業績予想の修正

連結業績予想(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想( A )	427	417	395	381
今回修正予想( B )	410	378	922	933
増減額 ( B - A )	16	+39	526	551
増減率 ( % )	3.8	-	-	-
(ご参考) 前期実績平成 19 年 12 月期	780	825	868	1,314

(単位：百万円、%)

修正の理由

当中間期の連結業績予想については、バイオマーカー創薬支援事業は予定通りに進捗いたしました。また、当中間期より個人を対象とした健康・医療市場でのサービスをテラーメイド健康管理支援事業として新セグメントへ追加、こちらの健康支援サービスの一環であるヒアルロン酸の販売が好調に推移しており、売上高及び営業利益が前回発表予想を上回る見込みであります。しかしながら、1.に記載の通り、持分法投資損失425百万円を計上した結果、当中間期においては連結業績で前回予想に比べて、売上高は45百万円増の172百万円、営業損失は64百万円減の205百万円、経常損失は357百万円増の616百万円、当期純損失は382百万円増の642百万円となる見込みであります。

通期の連結業績予想については、バイオマーカー創薬支援事業においてPGxトータルソリューションサービスのみならず、治験に関わる情報システムの開発案件や配合設計などの受注を獲得しております。また、テラーメイド健康管理支援事業における新サービス「DNAプライベートバンク」サービスについても本格的に稼働しており、厳正な精査の結果、若干の修正を要したものの、ほぼ前回発表予想通りの売上高を見込んでおります。

また、当中間期においては、様々な経費削減施策により前期と比較し、販売費及び一般管理費を167百万円(37.5%)圧縮しており、通期においても、引き続き業務運営の効率化や海外拠点(US・上海)の縮小など、経費の削減を図るとともに、グループ全体を通して、急成長事業への経営資源のシフト、業務執行体制の見直し等、事業推進の強化ならびに経営の効率化に積極的に取り組んでまいります。

関連会社において、現状想定される範囲で持分法投資損失を見込む等全体を精査した結果、前回予想に比べて、売上高は16百万円減の410百万円、営業損失は39百万円減の378百万円、経常損失は526百万円増の922百万円、当期純損失は551百万円増の933百万円となる見込みであります。

なお、単体業績予想については、開示しておりません。

(注)本資料に記載している業績予想等につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しております。そのため実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上